

# まっすぐ!

## 子育て一番のまち鈴鹿



こども

- 学びの質と環境を向上
- 放課後の学校を徹底活用
- 子ども支援の一層の充実
- 子ども条例の制定

## 誰もが安心なまち鈴鹿



あんしん

- 地域共生社会の実現
- 重層的支援の仕組づくり
- 地域医療の充実
- 住みやすい地域づくり支援

## 将来も安全なまち鈴鹿



あんぜん

- 気候変動への適応推進
- 事前復興の視点を取り入れた鈴鹿の都市づくり
- 給食と市内農水産業の連携

## 若者が活躍するまち鈴鹿



かいかく

- 若い世代の政治参画を推進
- 大卒学生が働ける鈴鹿に
- 学びなおしの拠点のまちに
- 起業しやすい仕組みづくり

## 身近な地域課題も取り組んでいます

すべてを紹介することはできませんが、地域の皆さんからのお声を聴き、行政に働きかけています。

例として、若松地区での堤防陥没事故について、2019年1月に「堤防がずれている」とお声を頂き、市の関係課を通じて県土木事務所とやりとり、当時、県が調査し



た結果、堤防に大きな問題はなくずれの修繕となりました。しかしその秋、堤防が大きく陥没。現状を確認し、市長に現場を見てもらうよう連絡を入れ、実際に現地を

見て頂きました。その後、多くの方の力もあって、改修が進められています。

海岸漂着ゴミについては、以前から大量に流れ着いた際は関係課と対応を話しあい対応していますし、他にも課題の改善に取り組んでいます。



地元自治会の会合にはできるだけ参加、その時の課題をお聞きし、行政側に状況を確認、取り組みなどについて話し合っています。また、顧問を務める自治会長会でのご意見や、地域づくり協議会の話し合いで気づいた課題も、すぐに担当課と話をして取り組んでいます。

他にもご意見を頂いた時や、自分で気づいた点などについて、状況を担当課で確認して、改善に取り組みさせて頂いています。

「私がやりました」ではなく、「私も関わりました」が議員の矜持と考えています。鈴鹿が、身近な地域が良くなるよう、かわらず真面目に、まっすぐ市政に取り組みます。

### 2019年

- 6月: 1.市財政の今後 2.投票率の向上
- 9月: 1.探求・地域課題解決型学習の支援
- 12月: 1.公共施設・インフラの維持更新 2.学校で子どもの権利学習

### 2020年

- 2月: 1.気候変動適応計画策定
- 9月: 1.デジタル化の推進 2.気候変動を踏まえた水災害対策
- 12月: 1.労働者協同組合法 2.文化財について 3.市西部地域の位置づけ

### 2021年

- 2月: 1.気候変動適応対策 2.市民参画充実
- 6月: 1.公共施設政策(三中学校改修込み)
- 9月: 1.都市マスタープラン改定 2.若年層へのワクチン接種
- 12月: 1.主権者教育と若者の参画 2.三中学校改修の現状

### 2022年

- 2月: 代表質問(会派代表として市政方針に質問) 1.「市民力、行政力の向上」に関連して 2.子どもと福祉 3.都市の在り方
- 6月: 1.いじめへの取組 2.物価高騰に対する学校給食の対応
- 9月: 1.災害時の情報伝達 2.DX推進体制
- 12月: 1.財政運営 2.空き家・空き地対策

借金を増やさない  
無策でなく行動で

# 子どもにツケをまわさない!